

ハチ博士の ミツバチコラム

31



京大 学園大 学
バイオ環境学 部
坂本 文夫 教授

キリスト教と蜂蜜

仏教と蜂蜜に続いて神道と蜂蜜の関係について情報を集めたのですが、これと言った関係は見つかりませんでした。それに対し、キリスト教の聖書には蜂蜜やミツバチについて多くの記載があります。

まず、蜂蜜の効用について「わが子よ、蜜を食べよ。これは良いものである。また、蜂の巣のしたたりはあなたの口に甘い。知恵もあなたの魂にはそのようであることを知れ。それを得るならば、かならず報いがある、あなたの望みは、すたらない。箴言(しんげん) 24:13~14、皆

川尚一牧師の説教より」。蜂蜜が栄養的に優れていることを述べた後に知恵に言及し、神の知恵が蜂蜜のように甘く、役に立つものであると教えています。聖霊の愛が人の心を溶かし、苦い味だと思っただものが蜜の味に変わることです。

「乳と蜜の流るる地」というフレーズが聖書に繰り返し出てきます。理想郷のことのようにですが、本来はカナンの地(現在のパレスチナ)の代名詞で、牛乳と蜂蜜の産地であったためにこう呼ばれたとの説明があります。恐らく、「乳と蜜」

の組合せが栄養の面で優れていることを古代の人々は知っていたと思われまふ。後に、アメリカの大学教授が牛乳と蜂蜜だけで3カ月間生活するという実験をして、最後にビタミンC欠乏の症状がわずかに出ただけで健康上の問題はなかったと報告しています。欧米の人達は概ね蜂蜜が好きですが、聖書に蜂蜜のことがくり返し出てくるのも理由の一つではないでしょうか。

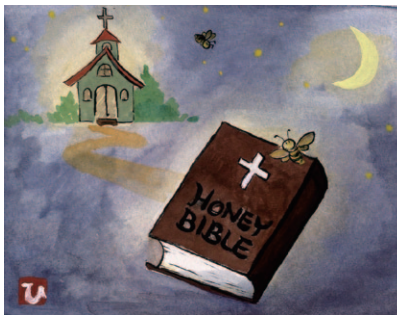


イラスト おおくぼひとみさん